

福大生ステップアッププログラム

第1回、作ろう花と緑と心のキャンパス ーキャンパスに咲く花を探し、草花マップを作りましょう！ー

開催日時：平成20年5月24日（土）、13：00～15：00

参加人数：15名（学生14名、教員1名）

テーマ：「春の草花」

講演題目／春の草花 ～学内のタンポポ～

野外調査／学内に咲く春の草花調査

講師／竹内千寿助教（福岡大学）

講演内容：

講演前半では、講師が学内で発見した春の草花の紹介があった。全部で30種類近くの草花が紹介され、それぞれの細かい特徴などが説明された。これらの草花の多くは大きさが数ミリ単位のもので多く、普段歩いているだけでは見落としがちである。草花を調査するにあたって、しっかりと観察する必要性を感じた。その後、学内のタンポポに関してその種類や分布が説明された。学内には以前「シロバナタンポポ」という種類が多く点在していたが、現在はその数も少なくなったことや、関西圏でよくみられる「カンサイタンポポ」を確認できなかったこと、また「セイヨウタンポポ」がその繁殖方法の違いで学内にも多く分布していることがわかった。特に「セイヨウタンポポ」は食用として海外から持ち込まれたことや、その料理方法、またタンポポ笛の原理など、参加者は興味深く聞き入っていた。最後に草花散策をするにあたっての注意点、写真の撮り方や図鑑の調べ方などの説明があった。

散策内容：

今回のプログラムでは参加者を3グループに分けて学内をエリア毎に散策する予定だったが、あいにくの雨模様であったため、グループでの草花調査は中止となった。しかし、参加者全員でA棟の付近の草花を講師と一緒に見て回った。今回の講演で取り上げた「シロバナタンポポ」や「ノイチゴ」等を紹介してもらい、短い時間ではあったが草花の調査の仕方などを学んだ。今回、春の草花調査をすることはできなかったが、学生が自主的に集まり、後日グループ毎に調査をすることが決まった。

総括：

平成20年度「作ろう花と緑と心のキャンパス」が15名の参加者と共に無事スタートした。今回はあいにくの雨により学内の草花調査が計画通り行うことはできなかった。しかし、学生達の自主的な行動で後日調査を行う事になったのは、本プログラムに対する参加者の意欲の表れである。次回はグループ作業で春の草花マップ作成を行うので早いうちにグループの団結力が高まることを願う。